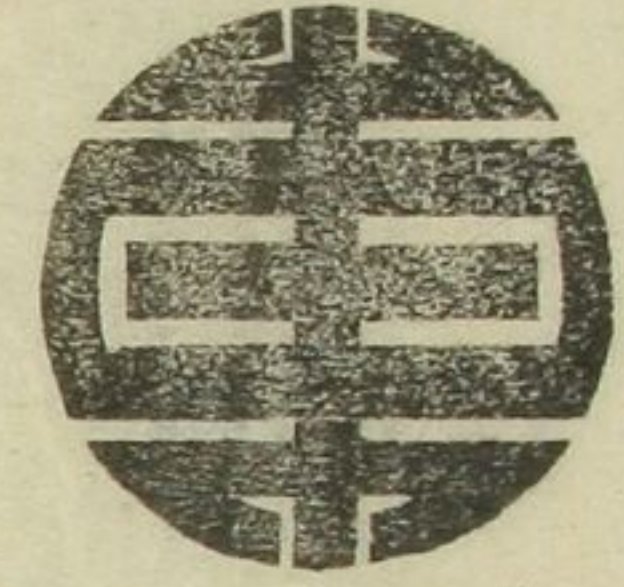


特別
✓ 13
3992

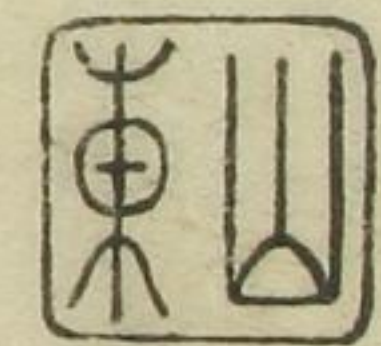




43-4933



江戸
京傳叙



山東鶏告
山東唐洲
兩筆著

夜半は糸漬

夜

多きけんとん蕎麦の
以て
扇を擲くを
此取中
多き

門カド子カヘ遠ウ。同トウ家カ。...

鷄アトヨロ唐トウ乃ノあア子コ一ヒト...

懐フトヨロうウ〜てテあアりリ。子コ...

換カ合カ成セせセうウらラふフ。三ミ

人ヒトあア〜文モン珠ジュあア〜

ロハニ

ぬヌ婦フ〜らラまマ一ヒト沖ウキ〜りリ

けケ〜紋モン白シロ越エ糸イト〜

智チ恵ヱふフ〜詠エイたタ〜

少シウ〜ふフはハ在アイ在アイ乃ノ

禁キン句ク。まマんンくク方ホウ都ト比ヒ

書成はしむるも。女島を
こらふ。秘密の傳を
此一冊みせむるま。
おと女島の娘^{ハシラ}
よ〜は〜

如き^{チヤ}茶^ワ活^ハちの^{ツゲ}。
夜^ヨ中の^ハ茶^ハ漬^{ツゲ}。
是^{カイ}も^{エウ}。其^ハの^ハ茶^ハ。
とらふ。成^ニ四^ハ。
行^ア燈^ド入^ラ樂^ク事^カる^キに

ふー あらもなまらう。ふふふか
あつま あらも田(に)あつ。ふふふと
あつふふー。ふふふふ。あ
あつ。あつ。あつ。あつ。あ
あつ。あつ。あつ。あつ。あ
あつ。あつ。あつ。あつ。あ

上夜半の葉(は)漬(づけ)

○ 敷(しき)摺(ず)

番所(ばんじよ) 文(ぶん)を(を)傳(つた)うが(が)と(と)りー 火(ひ)の(の)堤(づえ)ハ(ハ)丁(ぢやう)の(の)漂(たふ)す
浪(なみ)とも(とも)い(い)ふ(ふ)ん。五(ご)十(じゆ)回(かい)の(の)砂(すな)利(り)ま(ま)す(す)海(うみ)
波(なみ)れ(れ)さ(さ)海(うみ)と(と)ら(ら)せ(せ)夜(よ)ま(ま)ん(ん)坂(さか)より(より)大(おほ)門(かど)へ
入(い)る(る)人(ひと)と(と)小(こ)舟(ふね)と(と)ん(ん)ま(ま)ー(ー)い(い)ふ(ふ)ん(ん)れ(れ)よ(よ)る
と(と)の(の)公(こう)も(も)や(や)と(と)面(めん)白(しろ)ー(ー)字(じ)も(も)か(か)か(か)と(と)め(め)ー
冥(みやう)の(の)こ(こ)ら(ら)も(も)そ(そ)う(う)ら(ら)行(い)け(け)と(と)う(う)り(り)か(か)と

えんがんううう。あう。家くの鬼おにのまの
まじえりてせバ。風ふあう。松系まつぎの
ちのうとふ。ゆやも。狗いぬとままく。こ
あり。りふ。契き婦いが。推お灯ち。用もちあり。桶か
ふく。く。下したの。か。を。く。あ。く。れ
底そこま。く。も。ら。じ。き。空うまの。あ。い。ま。る。赤あか鬼おに
ぶ。か。も。も。う。う。ま。ん。ー。げ。ー。ま。ろ
七しちま。ハ。ま。み。お。い。に。お。ま。い。と。つ。む。ぞ。う。

悪あく仕しま。ハ。あ。り。月つきの。で。ね。ま。ん。女に郎らうの
ま。い。ら。と。つ。ら。ま。の。ふ。ー。ー。あ。や。と。お。う。
ま。の。ド。や。小こ回わいま。れ。く。ね。と。さ。を。ん。世よま
と。あ。の。端はと。う。ぎ。る。下したり。い。ま。と。つ。ま。光ひかりの。ま。ろ。
と。や。を。ま。く。も。あ。ま。る。よ。と。お。い。ら。い。つ
の。ま。ふ。た。つ。ハ。と。ぎ。ー。ぬ。に。は。つ。れ。拍ひ子こ本ほん
せ。ま。ー。く。一いち度どふ。ん。せ。と。ま。ま。れ。む。ー
と。ぬ。ら。う。あ。や。ま。い。つ。れ。あ。ら。ま。ら。ん。は。い

京傳醉画



がーけれど淋^{しみ}あもりのふおりのいあうら。
受^{うけ}後^ごおやめんま針^{はり}。林^{はやし}むさふあこ下^{した}。け
ハサ^{ハサ}へぬじつごまめてりよやむらからん。
か^からい^らい^いく^くば^ば一^{いち}葉^は^{Summe}
名代の書よらはおありか入のちより
小冊と出—こそわらあ名代のあんまり
影^{かげ} カアアあんざんよらん あひの本あうづら
ちよま^{ちよま}ち^ち入^いと^とて^てお^おん^んあ^あん^ん—お^おか^かん^んを^を 寄^よ
そん^{そん}を^をえん^{えん}ど^どや^やア^ア福^{ふく}入^いら^らふ^ふ親^{おん}喜^{のん}の^の地^ち也^いて^てえ^えあ
ら^らま^まい^いら^らか^かつ^つく^くき^きい^い 影^{かげ} カアアう^うら^らま^まら^らう^う

おみであん—+ 寄^よま^まち^ちや^やら^られ^れい^いよ^よあ^あん^んら^られ
いろとす^すあ^ああ^あと^とあ^あい^いその^{その}ぶ^ぶ 影^{かげ} カアアい^いや^やぬ^ぬに
い^いん^んぶ^ぶう^うら^らぐ^ぐお^おん^んせ^せあ^あん^ん—へ 寄^よ カアアそ^そん^んあ^あら
あ^あん^んど^どん^んと^とか^かき^きら^らぬ^ぬや^や
あんぞういんぎしてかさこそ
あんぞうはのみけうさそあき 影^{かげ}
カ^カア^ア子^しく^くお^おう^うあ^あん^ん—を^を
兵又日
○^ひ濃^の近^のに^に寝^ねお^お借^か
それ^{それ}尻^{しり}い^いころ^ろ—そ^そり^りの^のよ^よあ^あら^らん^んを^をい^いか^か—
つ^つら^らよ^よ—く^くら^らい^いの^のあ^あら^らん^ん—の^のい^いつ^つあ

あわ—あく。死ど金とく^中迷^中買^中うもあし
ねど。こころんといふと。か^か此^此屍^屍玉^玉と金玉
裡のまじあるあり。ふろま^まい^いと^とふ^ふあ^あん^んど。
出^出舞^舞の^の怪^怪此^此紙^紙う^うと^とあ^あや^や—。怪^怪場^場の^のぬ^ぬり^りれ
れ^れを^をこ^こと^とあ^あさ^さげ^げ。角^角、屋^屋あ^あと^と指^指子^子張^張く
係^係父^父子^子ま^まう^うう^う。西^西登^登屋^屋か^か下^下も^もや^や—^と紙^紙よ^よう
あ^あわ^わら^られ^れん^んば^ばい^いき^き—^とい^いく^くん^ん。
昔^昔波^波女^女扁^扁鶴^鶴と^とい^いふ^ふも。金^金銀^銀此^此紙^紙む^むう^うの

あれがきまのあそり—金とい—^とは
う^うとい^いへ^への^の候^候約^約ま^まう^うと^とお^おみ^み公^公好^好う^うも^もあ
ね^ねど^どい^い二^二廊^廊よ^よ入^入く^くあ^あん^んや^や—^とい^いふ^ふも^もあ^あ—
書^書齋^齋の^の人^人か^かあ^あん^ん此^此里^里へ^へ入^入る^るま^まう^うと^とい^いふ^ふも^もあ^あ—
傾^傾城^城の^の金^金ま^まう^うか^かう^うの^のま^まう^うと^とい^いふ^ふも^もあ^あ—
か^かゆ^ゆの^のま^まう^うと^とい^いふ^ふも^もあ^あ—^とい^いふ^ふも^もあ^あ—
懐^懐る^る可^可あ^あり^り。碎^碎あ^あく^くく^くく^くて^て遊^遊ぶ^ぶは
と^と座^座れ^れ—^とい^いふ^ふも^もあ^あ—^とい^いふ^ふも^もあ^あ—

まゝくきしつりしとみえたる二人は
遊ウツクシ客キヤクあり二人の愛あい濃のう一人の道みちをせむら
ほしき圓まのまの念ねんいあふたよりくこ桃ももえん
子こ義ぎをむしび毎まいの口くちとあふなまのひのこと
はしきえんのうねを改かへ金かねれあふりとあしきりり
一ひと日ひ秋あきの夜よ乃なり本ほんまきよ青あおのふがふれさぬま
げよ。福ふくそびゆる余あまのよ。愛あい濃のうを松まつとか
く下したをさしこに道みちは子こ公こうに一ひと町まちあふいらがま

こそよぶおちると秋あきをふをけつるのア二ニいろ
るもくしよとふさうま。くさくさうまのま
とさまきしアかくく。はきみがききい
ツラはかしやしやうがさねもくねがね
おさねるまよかむやうありむさうのあみや
れんがゑる時ときや人の死しぬらんど名なはい
せうらでこごえしやうがなりく小こまきよま
てのきしア女郎じやうらうさせんて人のあはれをさうら

とむくをまうらとあよある宮がいきやんら
けらるルを字あると一軒ツルよいつこおがうらを
いつえあるの振袖チリぶ産まよしやあ
君さしら。あはれつらつさがらよもあし何
らむしやうチヤあ家カあをつらうあ
もよれらとらうらうかへあけ出たりして。
何ち公れうらていつらよあるめんむらさ
あら人いさおさしちあぬとらふらぬむら

のくぬるなつさとしく花のそよまら
宮のよべんよあから何ちあよあはれ
まらぶぶおあしねうらまらうらとら
しこのぶといつあらうつらやつくさ
んし。まらち。務あぶまらあらさつん
としそ花のうららるるしやくよさ
くからあみのあそを思よら。宮のうら
くきこからそあぬかほぶよそあ

もさ言子止るくけを家しよモし今井いん
れとつうもはあーやーあうごあらやこんや
はらんごかんやくふるけあつて時をいごら
いさかお恋後さでさ中したうさうさといつ
よ中の町ごあつてさうあがごあさーやく
られささうごらごささるさやくふれ
候とらん中よむーやくさありくまらから
ふみのめさうと雲ふうらあんさよあか

きやしたからそれありよしてさうさきや
したあんとつう福人あごぬくとつうら
言はささーさんとさよさのびからほんのさ
ごと思つてさありかて人あめのあーさ
中れをよかつてさやさいさをしてさうね
かあひのけさうささささささるさ知ぬ人
さあさ中ささるささるさ女郎もさらあさ
なげさかたでいささやさあささあさか子

まゝ女ぐーゆるおめんらん此ーやうするを
あんまれとげぐーからのちておめん
やうぞねい女ぐるがむさと又よとぐこふ
まうちが妙さそふこふさうら床とがさ
めく。客ハおもく。産まれちづされ客
のてあそびまけ。茶屋ハまとうりうとく
ちつて居るこころあり。望し死の新造ハ
そられこころなくもろしそけい

女ぐをけりまへ。床れうらへひさごころらん
ふ。おるいもどふ髪とじしうぐとふ
とありへーうらた。ひさのあひまをせく。枕で
こつてよろはらとらさせくあくる。
女ハおさあぐくまをとしことある。拍子
おろりもの。角びらとらつりえー。そ
らハ紙々どのこまごころとらへん。枕
らんちされさいらうかの客れ夢がしる。から

つららハねんトけくえよとくうをまぬへあげく
あまうくおへ客があくくくおがを極まぬ。
あさぬくまのもしんぶまはら。こうとあが
でんぶでーあまふくしのあぶくと化モカのからと
あつんおぶがらくと卒をまぬ。そおあけ
狗ゆまをらととろくじさよせ。モシあめんらんハ
うらんか人ぶあぶんとあせ。うらるとい極
しあんーたともあま客ハあさぬくてあ

まが遠ちがやー移人びがまアアめんれととと
とやかんしやくれまうこと屁ともあまらん
まもちがふんづと何とかくしんしやく。雪
から名代仕客人があぶんーたがあつらんハ
ゆくまもまじうら。おめんまこつとつら
しやくあんぶ。まら客がこのごりじらうあ
さんけらとせいでしやーたが。今あまあめん
はんのまあんーたすとせうく。まもらんや

とんぼ。客があるもの。そねいとんぼ。すね。
おいらんごもくみい。やせぬとち。く
き。うら。ぎ。こ。く。ち。さ。う。ぬ。と。も。い。れ
ぶ。く。と。く。く。い。み。い。好。く。も。は。さ。ぬ
い。ぬ。と。の。り。比。ぶ。を。ふ。せ。む。笑。濃。が。あ。る
ほ。ご。こ。く。い。あ。も。く。一。路。裡。ぶ。く。く。ら。が
二。丁。め。れ。せ。も。く。も。ぬ。ぐ。よ。成。り。申。た。そ。れ
よ。う。く。一。お。か。か。け。ぎ。よ。ら。あ。さ。か。ら。そ。れ

ちうさごえんぐ。二十ろ三十れく。と全紙。
かい。う。ら。や。う。ま。く。く。い。く。く。い。が。あ。が。は。く
居。く。く。ら。つ。つ。ら。も。や。ん。ご。う。例。て。わ。の。た。さ。
き。の。お。ま。ゆ。く。よ。用。が。あ。る。く。中。北。町。い。く。こ
い。と。よ。ぎ。よ。ま。い。た。から。セ。ッ。い。く。く。ら。下。も。れ
く。お。ん。茶。や。い。つ。お。が。も。あ。ま。居。る。格
子。ぬ。二。く。い。へ。あ。ぐ。く。く。お。が。も。あ。ぐ。り。た。か。
あ。つ。ら。へ。申。し。う。く。う。ら。く。あ。り。く。お。が。

ムウそりおきけく用と六何れこぎ。此れハ
さ。アアそりおとそげくおるんあんし。おめん
あんはとさる。口はちも東具^{やぐ}張志^しけ
アアア那アらんせんが。新造^{しんぞう}とごうくも
けくすで。みんな客人ももまを抄せさる。
はえあも^{いんち}極おもと思ふ。まご申橋お客
げりくおざんさる。はれ^はおめんとこふ
ワアとま^はく^はい^はヤ^はから。あんどゆびと切

こらあ具とアアやらう。あんとこ
か^はく。ごうはめできれい。おめ^はい
こ^はら。あ^はのんと思^はう。お^はくん
お^はさる。お^はゆい^はとさる。あ^はと
い^はから。あ^はら^はい^はお^はや^はア^はコレ^は
い^はい^はん^はと^はあ^はや^はア^はけ^はら
そ^はう^はお^は名^はと^はお^はら^はあ^はら^はお^はら^は
み^はす^はら^はい^は十^はお^は具^はの^はか^はら^はお^はゆ^はび^はと^は切^は

めんまうりをらねく。いんじやうぶいふいと切る
くらわぬぬ。あせあねがとこころへいつくこ
ころゆく。こころかたが残^{のこ}て居る程のまじか
ねだ。利の金とかりくありらむ。そころ
はせゆくわんまうりやうとねとくじつ
こふ。こふあんばうやつはこころはく
こも。あねねび子ほれる英濃じやうね
かいこふ。これほどでも。ゆりうらいならぬ。

命でもやるひと。例^{れい}れまうちが流^{りゅう}俊^{しゅん}。くら
ふこねく。情^{じやう}のあふふとね。かたこふが。女
郎^{じやう}れいよまき。ホニこふいひあんせむつら
らやまうらふ。こころかつこころねもあめれおの
うんとこふ。かたこふ。かあねみこい
と思^{おも}う。おくんあんまき。そんあふいこ
つこやつこら。ほごも。こらんねんとま
あざん。たふと。かた。あねとまき。こ

と、何と氣さる人といふ。又、ソリヤ、ほんのり
かへとくやぐくやから。べらば、め志れさるだ
り人といへど。ゆきぬ、ホニ、れい、い、さ、で、お、ざ、ん
ま。そんな、モウ、あ、さ、ま、の、既、中、と、ぬ、い、ぶ、お、あ、ま
か、あ、ん、ー、や、う、と、ホ、指、の、紙、と、さ、う、何、う、と、ぬ、い、て
ん、を、さ、さ、お、ゆ、い、ハ、あ、ん、れ、る、も、あ、く。サ、ア、今、い、い
あ、ん、ー、の、通、り。ほん、ま、実、が、あ、く、む、さ、る、利、と
や、ら、れ、金、と、かり、て、お、り、と、も。こん、と、れ、お、興

と、い、く、お、ら、ん、あ、ん、ー。そ、れ、が、で、さ、る、ゆ、を、を、云
通、り。あ、れ、お、人、よ、ゆ、び、と、切、つ、く、お、興、と、い、て
ま、う、つ、お、ゆ、を、お、り、い、せん。か、さ、ら、い、もの、よ、さ、ら
り、お、ぬ、く、も、お、ま、の、お、ま、ざ、い、く、お、ざ、ん、ま、さ、と、い、
ま、れ、さ、時、が、さ、ら、ち、も、ぶ、つ、と、へ、ん、ご、ぶ、ア、あ、ん、ま
り、ほ、よ、み、と、い、く、ゆ、を、よ、か、つ、と、思、つ、く、い、い、
つ、い、く、ご、へ、ん、ご、い、お、と、こ、ら、あ、ら、思、つ、く、か、い、
々、ま、れ、ご、と、お、人、れ、お、興、ま、が、さ、ら、い、え、ん、と、い、く、人。

いづらおれよ秋風がら。ひらきけよ
んよ。げんげんお自奥とせせく。冥^{みや}ふさ
と云あくおら。それとあつてもひら
よやうがや。さくひらきけよ
お自奥こころをうら。さくひら
さくひらとそくちうらさくひら
お自奥こころをうら。さくひら
お自奥こころをうら。さくひら
お自奥こころをうら。さくひら

と云このめしたおら。おれもくら
へ。おれんよお自奥とせせく。ひら
ふもおれんせん。そんなあつら
と切くおれん。おれんよお自奥
おれんよお自奥とせせく。ひら
おれんよお自奥とせせく。ひら
おれんよお自奥とせせく。ひら
おれんよお自奥とせせく。ひら
おれんよお自奥とせせく。ひら

此をきかす入るにふらふらとふらふらとものぶからゆき
くてもゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき紙入
紙中から。例^{れい}にさしやうとせしむ。よきでふ
ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
かきりふあらしとゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
かきりふあらしとゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
らげもやうとゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
らんふらいらんが。おそくのふとゆきゆきゆきゆきゆき

その大帳さ。女奥のまらり中橋は客入
れきから出あきききききききききききききききききき
ざりうんと。ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
モレありく。ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
が。ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
いづくもゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
ゆき。二人きりゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき
ゆきゆきゆき。ゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆきゆき

思ひござつた。つれづれに申買をした。惣
 志あんぶが。つれづれに申買をした。惣
ぶん 又車といふものが。神田あんは客ふ
あり 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣

に古れいぶゆいしを切しつて申買をした。惣
 おやくはのぶが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣
 車といふものが。つれづれに申買をした。惣
 収といふものが。つれづれに申買をした。惣

不^なが。如^{ごと}く又^{また}車^{くるま}は^はほ^ほく^く居^ゐるといふ^{いふ}は
 づう^{ずう}し^しら^ら。あ^ある^るほ^ほど^ど大^{おほ}儀^ぎさん^{さん}ふ^ふ切^きる^るま^まも^もさ^さあ^あい
 が^がお^お多^たく^くふ^ふ切^きる^るま^まも^もさ^さあ^あい^いや^やう^うと^とや^やく^くか
 し^しく^く。亦^{また}と^とい^いわ^わふ^ふま^まう^うは^は不^ふが^が。又^{また}車^{くるま}が
 け^けは^はら^らが^がお^おへ^へお^おい^いま^まら^らあ^あや^やア^ア。モ^モ近^ぢい^い
 こ^こん^ん。え^えど^どこ^こう^うく^くま^まり^りが^がぞ^ぞう^うや^やう^うが^があ^あり^り
 だ^だら^らが^があ^あり^りき^きら^らや^やう^うい^いひ^ひ甲^かが^がこ^こも^もあ^あり^り
 と^と亦^{また}ら^らや^やう^うい^いひ^ひ甲^かが^があ^あん^んま^まう^うら^らち^ちも^もさ^さあ^あい^いせ^せん

せん^{せん}か^から^ら。こ^こう^うが^があ^あり^りれ^れち^ちも^もを^をか^かり^りら^らけ^けれ^れが^が指^さ
 と^とこ^こら^らせ^せる^るお^お。九^くお^おさ^さら^ら工^く夫^ふい^いち^ちめ^めん^ん
 う^うとい^いや^やら^ら。あ^ある^る禮^{れい}を^をふ^ふし^しあ^あり^りだ^だら^らあ^あり^りま^まる^る
 ま^まれ^れで^でも^も福^{ふく}が^が。ま^まも^もあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^る
 つ^つま^まり^り。こ^こう^うら^らせ^せる^るせ^せら^らに^にあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^る
 お^お。こ^こう^うい^いま^まら^らが^があ^ある^る。ど^どう^うぞ^ぞも^もあ^あり^りま^まる^る
 今^{いま}も^もと^とあ^あり^りま^まる^る福^{ふく}が^が。あ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^る
 ね^ね。こ^こう^うら^らせ^せる^るあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^るあ^あり^りま^まる^る

さう新造と申すをしく居る所が新
が大いおほいなる指を二枚らうといつてを。
さうせむくはくははあそ思ひくさう
さうあもあよむを福くとあはれよをくしんを
さうをちらうとていふが。こつよめみよめ
せむくはく新造よゆびをさうせむく。身
かろうよさう志田こつよめいけ地らあが
ひんこつよめからゆびぐ五両よあはれ。

ひあまうかみあがうら。とんあそあそあそあそ
さうさう新造もほれくあはゆびがから。
ほれくあはれうみあがうあはれ。さうあはれ
さうあはれくもけんあはれくさうあはれ
さうあはれくもけんあはれくさうあはれ
ゆびと大ね大くあはれくさうあはれくさうあ
もはれくもけんあはれくさうあはれくさうあ
といつてら。それハ妙極むさうやんそん

あらみぬとを指しひきくまーやーやー
と。うねーぐーか。う。そねらけつらぐを
地きよのみこませく。と。りく。新造ふゆひを
さつらせく。代金五兩強とらく。ちりく。大悦が
方へきいつい例ふらゆく切らからこく。女は
ほうからよびまらさく。あ。お。ゆ。び。あ。り
乃。果。を。と。り。ひ。り。を。く。あ。さ。て。ま。く。ざ。の
新。ぞ。う。ふ。り。て。ま。く。又。車。大。悦。が。こ。く。の。あ

でゆびしからまはさく。か。あ。く。お。が。血。が。ま。こ
し。で。う。の。例。の。あ。が。ら。れ。ゆ。び。を。本。様。く
く。は。る。く。を。く。ま。ゆ。び。が。さ。く。と。ら。く。と
そ。つ。ら。を。さ。が。く。ま。は。く。ら。ま。け。く。の。ゆ。び
を。つ。ら。が。あ。た。く。は。る。く。う。ま。く。一。つ。さ。い。ま。が
を。り。を。く。ら。を。く。あ。さ。く。大。悦。も。め。れ。う。く。ざ。ん
く。ね。さ。く。う。ら。ま。ら。く。か。あ。く。そ。れ。う。を
ら。ま。く。指。を。は。る。ま。の。く。の。ん。ぐ。ま。ら

のさびしきおをもちもいしんがうもひのうの
あがむが二のびぐさいねをささくねくひが
うらららららららららららららららららら
しやがにんじんまをころらららららららら
るをささくあらしをささくささくささくさ
ささくささくささくささくささくささくさ
いらふらふらふらふらふらふらふらふらふ
しためくあくさくさくさくさくさくさくさ

ころらららららららららららららららら
そねらららららららららららららららら
あらしもころらららららららららららら
まらもころららららららららららららら
ころらららららららららららららららら
ころらららららららららららららららら
まららららららららららららららららら
あらしもころらららららららららららら
あらしもころらららららららららららら

○
ある東比二人此にまねがうりと。登
ひらこころあこころくうとよとよからゆ
ぬまよらよとくどやうれ世の中。
ころを思ふがあうれうともみをお
れいつらううらいいほるところ。さあ
ほどうそいつねきせいれ一白く
けいやくよかきひ。ぶらんそ花はあうら

林三

三つよ

このそくもそよよ公とがうらうれ
ころうらうらぶる人ぞうらあ
と極くくもむをありと。こころ
と捨く川竹の橋ののこころは
あま。その耳をそそぎね

東比糸波の大尾

は序

みみからよ不通よりけりや釋トクハ。
珍メ子コかちの世ヨの物モノは
まききき。みみいよよひし
けりも不フ通トウ紙シ書ショはた
し。紅ベニ毛モウ人ニの口ク舌ゼツを
か

ボトク
しくあべー。通トウと不フ通トウの
ホン本ホン何ナニほを紙シ両リウ子シ
あぐんして紙シもや。野ヤ暮ホれ
あぐんして紙シもや。野ヤ暮ホれ
あぐんして紙シもや。野ヤ暮ホれ
あぐんして紙シもや。野ヤ暮ホれ

玉タマ起トクるル来キ賀カをオ子シ取テ寄ヨ寄ヨ
子シ取テ寄ヨ寄ヨ

④年

65

此ノ武新被禱亦返ニ出来
ナ小由水ノ少許をコトク下候

江戸通油町

書林

葛屋重三郎

五



